更新日 2024 年 3 月 24 日

書籍『図説 %Z法と対称座標法の入門』初版 第２刷の正誤表（１/２）

題記の書籍をお買い上げ頂き，誠にありがとうございます。その書籍の中で、下表に示す箇所に誤記がありましたので，お詫びして訂正します。
なお、下表の「訂正箇所」の欄に赤色で示した事項が、今回の追加訂正分です。

著者；柴 崎　誠

訂 正 箇 所	誤 っ て い る 表 記	正 し い 表 記
P７の「手順４」から下方へ７行目	・・・算出するためには，１000＿＿＿＿×3 [kV･A]に置き換えます。・・・	・・・算出するためには，１000 [V･A/kV･A]×3 [kV･A]に置き換えます。・・・
P７の下から３行目	・・・[kV]の単位で表した１000＿＿＿＿×66 [kV]の数値に置き換えます。・・・	・・・[kV]の単位で表した１000 [V/kV]×66 [kV]の数値に置き換えます。
P56 の (16)式の分母	$\%R_1[\%]=\cdots=\dfrac{10.166\times10^{-2}\times200}{10\times044^2}=$ 分母の 044 に小数点が欠落している。	$\%R_1[\%]=\cdots=\dfrac{10.166\times10^{-2}\times200}{10\times0.44^2}=$ 分母の 0.44 に小数点を書き加える。
P59 の例題１の設問文の３行目	変圧器 A の%漏れ X_T 値は、・・・	変圧器 A の%漏れ Z_T 値は、・・・
P106 の下から４行目	・・・発電設備が全出力の 450[kW]のとき、・・	・・・発電設備が全出力の 900[kW]のとき、・・
P152 の６行目	・・・電源電圧値の E_{SA}，E_{SA}，E_{SA} を・・・	・・・電源電圧値の E_{SA}，E_{SB}，E_{SC} を・・・
P154 の７行目	先の講義 03 で・・・	先の講義 02 の第２項で・・・
P161 の(11･17)式	$\dot{V}_1=\dot{E}_{SA}-\dot{Z}_1\cdot\dot{I}_1=\left(1-\dfrac{-\dot{Z}_1}{\dot{Z}_0+\dot{Z}_1+\dot{Z}_2}\right)\dot{E}_{SA}$	$\dot{V}_1=\dot{E}_{SA}-\dot{Z}_1\cdot\dot{I}_1=\left(1-\dfrac{\dot{Z}_1}{\dot{Z}_0+\dot{Z}_1+\dot{Z}_2}\right)\dot{E}_{SA}$
P172 の図 15･1 の中の変圧器の%Z値	$\%Z_T=4.3\ \%$	$\%Z_T=4.08\ \%$ (説明) P176 の５行目に記した 4.08[%]と合わせる。

次頁に続く

書籍『図説 ％Z法と対称座標法の入門』初版 **第2刷**の正誤表（2／2）

訂 正 箇 所	誤 っ て い る 表 記	正 し い 表 記
P179 の(15･30)式	≒ 1.078 4 [pu] ∠0 [°]	＝1.078 4[pu]∠－3.55 [°] （E_{SA} とほぼ同位相）
P192 の例題 6 の「解法と解説」の中の(1)式から 2 行上から	（説明；次の二重線を施した 3 か所の「3」が余分であるため、3 か所とも「3」を削除して修正する。） ・・・・・・ 題意の未補償分の 11 869[kV･A/相]の値から ~~3~~ $\%\dot{Z}_C$[%] の値，及び，零相分$\%Z_0$[%]の値を，3$\%R_N$[%]と ~~3~~ $\%\dot{Z}_C$[%] の並列合成値で求めます。 $\cancel{3}\,\%\dot{Z}_C[\%]=-j\dfrac{10\,000\,[\mathrm{kV\cdot A}]}{3[\text{相}]\times 11\,869\,[\mathrm{kV\cdot A/相}]}\times 100[\%]=-j\,28.08\,[\%]$ (1)	
P234 の図 2 の中	図 2 の E_A と E_{SA} が逆に記載してある。	図 2 の E_A と E_{SA} を入れ替えて修正する。
P253 の(26-1)式	$+j5\times(X_{G2}+X_T)\fallingdotseq\dfrac{1}{-j5\times 2\omega C_1}$ (26-1)	$\left\|5\times(X_{G2}+X_T)\right\|\fallingdotseq\left\|\dfrac{1}{5\times 2\omega C_1}\right\|$ (26-1)
P264 の 1 行目	・・・零相分電流 $\dot{I}o$__、及び $3\dot{I}o$[A/相]が・・・	・・・零相分電流 $\dot{I}o$[A/相]、及び $3\dot{I}o$[A]が・・・
P269 の図 29-4 の左下	（誤記の説明）C 相電圧の記号が Eac になっている。	（訂正の説明）C 相電圧の記号を Esc に訂正する。
P270 の 6.項の(1)項	(1) 微地絡____を生じた・・・	(1) 50% 地絡故障を生じた・・・
P282 の図 30･10 の中のアーク表示	（誤記内容の説明）図 30･10 の中の上相の A 相、中相の B 相、下相の C 相の 3 相分の全ての碍子表面にて閃絡状態を表すアークを描いてある。	（修正方法の説明）図 30･10 の中の中相と下相の碍子表面のアークを消去して、上相の碍子表面のアークのみを残し、A 相にて 1 線地絡故障を生じている状態に修正する。
P286 の図 30･14 の中	点線を基準に実線が「28.1° **遅れ**」と記してある。	「32.0° **遅れ**」に修正する。
以下余白		

以上